

公益財団法人横須賀芸術文化財団
平成 24 年度第 2 回評議員会
議 事 録

- 1 開催日時 平成 24 年 6 月 21 日（木）午前 10 時から午前 11 時 40 分まで
- 2 開催場所 横須賀芸術劇場 大劇場 楽屋 8
- 3 出席者 評議員総数 6 名
出席評議員 5 名
上田滋、岡朋子、片山薫、下里矩生、福本眞和
出席理事 1 名
原田恵次（業務執行理事・常務理事）

4 議長 下里矩生

5 決議及び承認事項

議案第 3 号 平成 24 年度（6－3 月期）事業報告及び決算について

6 報告事項

ア 平成 23 年度第 3 回理事会以降における理事会の決議事項について

イ 平成 23 年 8 月 1 日以降の職務の執行状況について

ウ 「第 4 回野島稔・よこすかピアノコンクール」の開催結果について

エ 次期指定管理者公募スケジュールについて

7 議事の経過概要及びその結果

定刻に評議員全員の着席を確認し、天沼事業部長が開会を宣言。

定款第 18 条の規定に基づき、出席した評議員の互選により下里評議員が議長に選出され、併せて、定款第 22 条第 2 項の規定に基づく議事録署名人となった。

下里議長が定款第 19 条第 1 項に規定する定足数を満たしていることを確認し、本評議員会が有効に成立した旨を宣言し、議案の審議に入った。

(1) 議案第 3 号 平成 24 年度（6－3 月期）事業報告及び決算について

下里議長が議案を上程し、柳田管理課長が詳細を説明。

平成 23 年度は分かれ決算となったため、事業年度と通年の実績をそれぞれ比較し説明。

説明によると、平成 23 年 6 月 1 日付け公益財団法人へ移行したため、今期は移行初年度であった。東日本大震災に伴う計画停電、原発事故による風評被害等の影響から、事業計画の実施に際し常に不安要素を伴う状況にありながら、運営経費の節減等を励行し、事業展開に係る財源の安定的確保に努めた。自主公演事業については、平成 22 年度からの公演延期、招聘公演のキャンセル等、震災の影響が大きく生じたが、積極的に販路拡大に取り組むなどして、市民に多くの舞台芸術の鑑賞機会を提供した。育成事業については、劇場合唱団の活動、若手演奏家の育成支援等を通じ、市民が主体的に文化活動に参加できる環境を提供し貢献した。貸館事業については、情報提供及び営業活動の強化により利用促進を図り、

利用者のニーズの把握、ホスピタリティの向上に取り組み、顧客満足度の向上及び充実したサービスの提供に努めた。その他事業全般において、横須賀市の文化施策との連携を図り、常に地域に親しまれる劇場として、地域の活性化及び芸術文化の振興に寄与したとの内容であった。

決算額については、適正な公益目的事業比率を確保し、かつ昨年度と比べ約3,100万円の資金収支改善を達成するという良好な結果となったが、次期指定管理者は公募選定となるため、経費圧縮を更に推進し、より効率的な運営に努めていくとの内容であった。

続いて、大西、山崎両監事が平成24年度（6－3月期）における理事の職務の執行について監査した結果、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示していること、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められないこと、内部管理体制の整備に関する理事会決議及びその体制下の理事の職務の執行が相当であること、計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は適正に表示していることが報告された。

評議員から質疑がなされなかったことから、下里議長が諮った結果、出席評議員全員異議なくこれを可決した。

（2）報告事項

ア 平成23年度第3回理事会以降における理事会の決議事項について

芦川管理課主任が報告。

決議事項の多くは、評議員会において審議した議案であったため、平成24年度事業計画及び予算を中心として報告された。

事業計画については、定款に規定する公益目的事業及び収益事業の区分に沿って、予算については、資金収支予算書、収支予算書（正味財産増減予算書）及び「資金調達及び設備投資の見込みについて」について、それぞれ説明。

説明によると、平成24年度は、横須賀芸術劇場の指定管理期間の第2期の3年目を迎える。劇場が「市民の賑わいと交流を生む場」、「文化振興の拠点」として更に充実するよう、舞台・音楽をはじめとする芸術文化に関する事業を実施し、横須賀の芸術文化の創造及び発展並びに文化的な潤いのある地域社会の実現に寄与していく。また、長年にわたる劇場の管理運営の経験と実績をもって、更なる収支改善及び顧客満足度の向上を図り、適切な管理運営を行うとともに、常に地域に親しまれる劇場として、地域の活性化及び芸術文化の振興を図っていく。なお、平成24年度に行われる次期指定管理者の公募選定に向けては、十分な準備をもって申請を行い、指定を獲得する。

予算については、赤字予算となるが、市民サービス等への還元を反映させた編成としている。

更に厳しい経営状況が予測されるため、引き続き経費節減に取り組み、可能な限りの赤字の圧縮を図るとともに、顧客のニーズに合った企画の実施や施設利用の促進に向けたサービスの強化に努め、増収を図っていくとの内容であった。

本議案に関連し、次の質疑応答があった。

- ・上田評議員：評議員会と理事会の役割の違いについて、改めて説明してもらいたい。また、予算説明の時期は、当該年度が開始する前が望ましい。
- ・原田常務理事：評議員会は議決機関である。理事会が事業計画及び予算を決定し執行するのに対し、評議員会は理事の執行内容を監督するという関係にある。予算については、理事会の承認を受けた時点で確定しており、当該年度開始後の報告となった。
- ・下里議長：今後は、補足説明も加えた上での説明をお願いしたい。また、予算説明は、なるべく早い段階でお願いしたい。
- ・上田評議員：公益財団法人として、市民サービス等への還元という大前提はあるが、当初から赤字予算を作成することは、本当に望ましいことなのか。
- ・原田常務理事：震災の影響等もあり、他の法人でも緊縮予算を策定する状況下にあるようだ。しかし、そもそもの法人組織の在り方として、赤字予算が当然だという考えはない。継続的な運営が可能となるよう、内部留保の確保にも努めていきたい。
- ・上田評議員：友の会の会員を増やすため、一般市民を取り込む機会を設け、会員増加に繋げる方策も検討して欲しい。事業内容も魅力的でなければならない。
- ・天沼事業部長：友の会については、会員情報の管理方法を含め、改善に向けたヒアリングを始めているところである。チケットを購入しやすい環境を整備するためにクレジット会社と提携し、現在もその体制を維持し運営しているが、新規入会に際しクレジットカードを作成する場合と同様の手続きが必要であるなど、会員増加を図る上での弊害も生じている。
- ・上田評議員：若者を取り込むためには、クレジット機能は必要だと考えるが、1社と提携し続けることにより、経費の固定化等デメリットも生じるのではないか。
- ・天沼事業部長：個人で所有するクレジットカードがあれば、劇場独自のカードを作成することなく入会出来るという方法も検討している。頂戴したご意見も参考にして、会員組織の在り方を改善し、提供サービスの充実に努めていきたい。
- ・片山評議員：「サントリーホールアカデミー・オペラ」の公演は、新たな発想であり、注目すべき事業である。今後も、例えば学校と提携し地域貢献に取り組むなど、様々なアイデアをもって公共ホールとしての使命を果たしていくことを期待したい。

イ 平成 23 年 8 月 1 日以降の職務の執行状況について

小沢理事長、木村副理事長に代わり、原田常務理事が報告。

横須賀市関係では、芸術劇場指定管理業務に係る月次及び年次報告を行い、特段の指摘事項もなく評価を受けたこと、平成 22 年度事業報告及び決算等に基づく

経営状況報告書の提出をしたこと、監査法人による包括外部監査において特段の問題事項が挙げられなかったこと、市内外の企業に対し事業協賛の依頼を行ったこと、更には、次期指定管選定に係る申請及び横須賀市決算議会に向けた準備を行うことなどが報告された。

- ウ 「第4回野島稔・よこすかピアノコンクール」の開催結果について
天沼事業部長が報告。

同コンクールを平成24年4月23日から29日まで（うち5日間）開催した。応募者73名のうち71名が予選に進出し、本選進出者8名の中から入賞者3名を選出した。入賞者には、副賞として、財団の主催公演等に出演する機会を提供する。野島稔審査委員長からは、応募者数は前回と比べ減少したが、より高いレベルを目指すピアニストが本コンクールに本気で参加していることの表れであること、今回の審査は激戦であったとの評価をいただいた。今後も、全国有数のコンクールとしての確固たる地位を築いていきたい。

- エ 次期指定管理者公募スケジュールの概要について
大倉事業課長が報告。

芸術劇場次期指定管理者の公募選定の決定を受け、財団として、万全な体制において指定を受けるべく準備を進めていく旨説明。

以上をもって、議事全部の審議及び報告が終了したので、午前11時40分、議長が閉会を宣し、解散した。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長が記名押印する。

平成24年6月27日

公益財団法人横須賀芸術文化財団

議 長
評 議 員

下 里 矩 生

印

本議事録の作成にかかわる職務を行った者の氏名

公益財団法人横須賀芸術文化財団

常務理事（事務局長） 原田恵次

管理部管理課 佐久間陽一